

2

中山さんは、本の読み方について考えるために、【A】と【B】の文章を読んでいます。これらを読んで、あとの問いに答えな
さい。

【A】

(岸見一郎『本をどう読むか』による。)

(岸見一郎『本をどう読むか』による。)

(小林秀雄「読書について」による。)

(小林秀雄「読書について」による。)

(注1) ヘラクレイトス 生没年不詳。紀元前五百年ごろに活躍したギリシヤの哲学者。

(注2) 「文は人なり」 十八世紀にフランスの博物学者ビュフォンが演説の中で述べて広まった言葉。

(注3) 書簡 手紙。

(注4) 片言隻句 わずかな言葉。

— 線部「落胆する」の意味として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 慌てる
- 2 恐れる
- 3 恥ずかしがる
- 4 がっかりする

二 【A】と【B】の文章に共通している表現の効果を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 主張に関わる言葉を引用することで、伝えたいことを印象付けている。
- 2 敬体でいいねいに述べることで、伝えたいことを身近に感じさせている。
- 3 問いかけを用いることで、伝えたいことに興味をもたせている。
- 4 冒頭の一文に結論を示すことで、伝えたいことを明確にしている。

三 中山さんは、【A】と【B】の文章で述べられていることを次のようにまとめました。次の【ア】、【イ】に入る言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

読書の楽しみについて、【A】では【ア】ということが、【B】では【イ】ということが述べられている。

- 1 同じテーマの本を何冊も読むことで、ものの見方を広げる
- 2 一人の作家の代表作を選んで読むことで、その作家の特徴をつかむ
- 3 同じ本を再度読むことで、以前と違う自分に気付く
- 4 一人の作家の全集を隅から隅まで読むことで、その作家の性格や個性を知る

四 中山さんは、【A】や【B】の文章で述べられていることを参考にして、自分の本の読み方について考えました。あなたなら、

これからどのように本を読んでいきたいと考えますか。次のア、イについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

ア 【A】か【B】、またはその両方の文章から、自分が着目したところを抜き出しなさい。

イ アを踏まえ、読書に関する経験や知識に触れながら、これからどのように本を読んでいきたいかを具体的に書きなさい。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

選んだ文章

←選んだ文章の番号を塗りつぶしなさい。

- ①【A】 ②【B】 ③両方

ア

--

イ

--